

令和4年度第4回
公立大学法人公立ほこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 令和4年7月4日(月) 15:00～15:31
- 2 場 所 オンライン開催
- 3 出席者
- 委 員：片桐学長(議長)、川嶋副理事長、平田副学長(理事)、佐藤(任)事務局長(理事)、三上副学長(学科長)、鈴木(恵)副学長(社会連携センター長)、香取研究科長、和田学科長、中小路情報ライブラリー長、宮本メタ学習センター長、大場システムデザインセンター長
- オブザーバー：奥野高度ICTコース長、安井情報デザインコース長、櫻沢複雑系コース長、川越教務委員長、新美学生委員長
- 事 務 局：杉村企画総務課長、佐藤(修)財務・研究支援課長、久保田教務課長

4 議 事

(1) 審議事項

① 教員公募について

- ・ 川嶋人事委員長から、当日配付資料に基づき説明があった。日本語での授業の実施について明記すべきか質疑があり、明記しないこととなった。また、「その他」に本学の特徴等を追記することとなり、修正案を今後周知することで了承された。

(2) 報告事項

① 安全保障輸出管理の手続きの更新について

- ・ 鈴木(恵)社会連携センター長から、資料1に基づき、安全保障輸出管理の手続きの更新について報告があった。関係法令等への対応や世界情勢を踏まえて、今後「安全保障輸出管理チェックシート」を更新し、教員の手引き等で具体的に案内する予定である旨の説明があった。

(3) その他

① 8月の教授会および研究科委員会の開催方法について

- ・ 香取研究科長から、8月の研究科委員会について、入試結果の審議があることから開催方法の確認があり、教授会と研究科委員会の両委員会を対面で行うこととなった。

② クォーター制について

- ・ 片桐学長から、今後ワーキンググループを設置し、具体的にクォーター制を検討する旨の報告があった。

③ 静宜大学との交流について

- ・ 安井教授から、今後の静宜大学との交流のあり方について質疑があり、交流の具

体的な内容について検討することとなった。